

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	スミカセン-L
整理番号	CE3502
会社名	住友化学株式会社
住所	〒104-8260 東京都中央区新川2-27-1
担当部門	ホ ^レ リエレン事業部
電話番号	03-5543-5421
FAX番号	03-5543-5995

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品		
化学名又は一般名	ポリエチレン コホ ^レ リマー		
別名	直鎖状低密度ホ ^レ リエレン		
化学特性	$-\text{[CH}_2\text{-CH}_2\text{]}_n\text{-[CH}_2\text{-CH]}_m\text{-C}_2\text{H}_5$		
含有量(純度)	99%以上		
官報公示整理番号	化審法 (6)-18	安衛法	既存
CAS番号	25087-34-7		
危険有害成分	該当なし		

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 有害性	眼・皮膚を物理的に刺激する可能性がある。加熱、溶融したポリマーに接触すると火傷をすることがある。
環境影響 物理的及び 化学的危険性	難分解性である。 可燃性がある。熱、火花及び火炎で着火することがある。火気注意。空气中で細かい粉塵が飛散し、爆発性の混合気体を形成する。粉塵爆発性は高い。
分類の名称(日本方式)	分類基準に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合	高温の樹脂から発生するガスを吸入した場合は、被曝者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。粉塵を吸入した場合は、鼻をかみうがいさせる。速やかに医師の診断を受ける。 呼吸が弱っている場合は酸素吸入を行う。呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼
--------	---

	吸をしていて嘔吐がある場合は頭を横に向ける。意識がない場合は口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら洗浄する。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。 溶融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけて十分に冷却した後、衣服を脱がせ、清潔なガーゼ等で覆って、速やかに医師の診断を受ける。付着物を無理にはがしてはならない。
目に入った場合	清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。目をこすったり、固く閉じさせてはならない。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄する。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。直ちに医師の診断を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。呼吸をしていて嘔吐がある場合は、頭を横に向ける。意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。
応急措置をする者の保護	救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、マスクなどの保護具を着用する。汚染された衣類や保護具を取り除く。

5. 火災時の措置

消火剤	(初期消火) 二酸化炭素、粉末、泡 (大規模火災) 水、泡
特定の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。
特定の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。燃焼または高温により有毒ガス(CO等)が発生することがあるので、呼吸用保護具を着用する。 周辺火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができないときは、容器に注水して冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業の際には適切な保護具を着用し、粉塵、ガスなどを吸収しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火原となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。
環境に対する注意事項	本製品は、環境中の生物や水質に影響を及ぼす可能性があるため、漏出物を河川や下水に流してはいけない。
除去方法	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水で洗浄し、洗浄水は全て密閉できる容器(廃棄物入れ)に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取り扱いは換気の良い場所で行う。屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。取扱い場所には関係者以外の立入りを禁止する。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取扱う。

休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込んではいない。

粉塵が発生する場所は、密閉系で取扱う。粉塵の堆積を防ぐ。粉塵防爆型の電気設備及び照明設備を用いる。アースの使用等により帯電を防ぐ。

注意事項

容器を転倒、落下させる、引きずるまたは容器に衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。粉塵が発生する場合は、局所排気内で取扱う。

安全取扱い注意事項

成形残分は良く冷却してから廃棄する。

保管

保管条件

直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管する。通気のよい場所で容器を密閉して保管する。

技術的対策

通風をよくし、蒸気または粉塵が滞留しないようにする。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

混触禁止物質

強酸化剤

容器包装材料

情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
許容濃度	管理濃度：未設定 日本産業衛生学会(2003年度版) (第3種粉塵として) 2 mg/m ³ (TWA) (吸入性粉塵) 8 mg/m ³ (TWA) (総粉塵) ACGIH(2003年度版) (一般粉塵として) 3 mg/m ³ (TWA) (吸入性粉塵) 10 mg/m ³ (TWA) (総粉塵)
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡、防災面
皮膚及び身体の保護具	保護衣(長袖作業衣)、帽子、安全靴等
衛生対策	本製品の有害性に関するデータはほとんど得られていないため、取扱者の曝露を最小限にするよう、作業環境を整備し、発散した粉塵を吸い込まないように適切な保護具を着用して取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	
物理的状态	固体
形状	ペレット状
色	白色または乳白色
臭い	無臭
pH	関係なし
物理学的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
融点	116-127°C(グレードにより異なる)
発火点	349°C
爆発特性	粉塵爆発下限界濃度 15 g/m ³ (平均粒径24 μm) 30 g/m ³ (平均粒径105 μm)
密度	912-941 kg/m ³ (グレードにより異なる)
溶媒に対する溶解性	水；不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵、取扱いにおいて安定であると考えられる。
反応性	反応性なし
危険有害な分解生成物	熱分解により、COなどが発生する恐れがある。

1.1. 有害性情報

本製品に関する情報はないが、成分である[エチレンホモリマー(ホリエレン)]については以下の情報がある。

急性毒性

[エチレンホモリマー(ホリエレン)]

経口 (ラット) LD50 > 3000mg/kg

経口 (マウス) LD50 > 2500mg/kg

吸入 (マウス) LC50 12g/m³ (0.5hr)

局所効果

[エチレンホモリマー(ホリエレン)]

(眼)刺激性を示す可能性がある。

(皮膚)粉塵、または粒子が物理的な刺激性を示す可能性がある。

慢性毒性・長期毒性

[エチレンホモリマー(ホリエレン)]

(ラット)混餌 90日(混餌量 最大5%)

影響:特になし

(ラット)混餌 90日(混餌量 最大13500ppm)

影響:可逆性の肝臓の脂肪滴と腫脹 無影響量:2700ppm

(イヌ)混餌 90日(混餌量 最大13500ppm)

影響:特になし 無影響量:2700ppm

発がん性

[エチレンホモリマー(ホリエレン)]

(ラット、マウス、ハムスター)

皮下埋入または腹腔内 1-2年観察

影響:投与部位の繊維肉腫化⁶⁾。

(発癌性評価)

日本産業衛生学会:未収録

IARC:Group3 (ヒトに対する発がん性については分類できない)

。

変異原性

[エチレンホモリマー(ホリエレン)] エムス試験:陰性

1.2. 環境影響情報

本製品に関する情報はないが、成分である[エチレンホモリマー(ホリエレン)]については以下の情報がある。

残留性・溶解性

[エチレンホモリマー(ホリエレン)]環境中で長期間分解しない。

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

埋め立てまたは焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等の排出は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

汚染容器・包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類	国連分類の定義上危険物に該当しない。
国連番号	なし
国内法規制	消防法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送を行う。

輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。空気移送の場合は、移送速度を低くしたり確実な接地を行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。
----------------	---

15. 適用法令

消防法	指定可燃物(合成樹脂類) 火災予防条例準則第34条
-----	---------------------------

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。